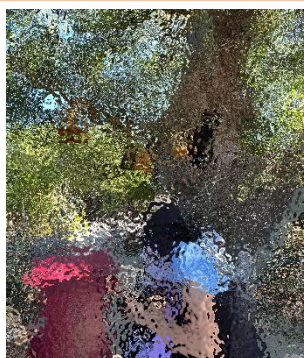




「長崎修学旅行、6年生の成長が嬉しかったです。」



平和追悼記念館での様子



被爆した楠の木に募金する子供



八木先生の講話



ホッと一息美味しい夕食

先週9・10日の2日間、修学旅行に行ってきました。これまでしっかり準備してただけあって、長崎で見たり聞いたりしながら「戦争や原爆の悲惨さ、平和の尊さ」について全身で考え、行動できていたと思います。全校児童で折った折鶴も砥川小みんなの平和への願と共に追悼記念館におかせていただきました。午後からはグループ活動。自分達で計画したコースを地図と標識を頼りに回っていました。一本柱鳥居の近くにある大きな楠の木は被爆後に息を吹き返したことで有名ですが（長崎出身の歌手福山まさはるさんが歌も作っています）その木を見て、木を守るための募金をする子もいました。また被爆者体験講話では、当時の悲惨な状況を、体験した人にしか分からない切実な思いをもってお話しいただきました。1時間ずっと話を聞くのは大人でも大変ですが、この時の6年生は講師の八木先生の気持ちを受け止めようと真剣に聞く姿が見られ、大変感心しました。感染症の広がりを心配した修学旅行でしたが、6年生一人一人の成長が感じられる有意義な2日間だったと思います。6年生保護者様には修学旅行の準備やルール・マナーへのお声かけ、大変ありがとうございました。ご協力に感謝です。

「あいさつリレー」次は 2年生の●●さん、5年生△△さん、□□さんです！

前回紹介したのは3年生の〇〇さんと★★さん。次の挨拶名人は、〇〇さんの紹介で2年生の●●さんです。また、私からは5年生の△△さんと□□さんを紹介します。2年生の●●さんは、3年生が見ても挨拶が上手だと思えるくらい毎日元気な挨拶が出来るととても素敵な子どもさんです。

5年生の二人は児童玄関でも、登校中の道路でも一旦止まって、とても元気な声であいさつが出来ます。相手の顔を見て声をかけることができるのも素晴らしいです。5年生なので砥川小学校の顔となって挨拶を広げてくれる存在になって欲しいです。

年齢が上がるにつれ、恥ずかしさや、照れくささなどもあり、声が小さくなったり、素知らぬ顔で通り過ぎたりする子供もいます。しかし、挨拶は大人になればなる程にその重要性を感じるのは私だけではないと思います。礼儀や他の人と繋がるためのコミュニケーション力の1つが挨拶ですよ。小学生のうちに、挨拶が習慣化できるといいなあと思います。